

令和5年度 丹波篠山市立西紀南小学校 学習や生活に関する向上プラン

本校は、全国学力・学習状況調査(6年生)と丹波篠山市学力・生活習慣状況調査(5年生)、生活習慣状況調査(3・4・5年)の結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しています。学力の定着状況をご確認いただき、子どもたちの学習・生活習慣の改善、さらに学校の教育活動にご支援をお願いします。

全体的な状況及び課題

【全国学力・学習状況調査および丹波篠山市学力・生活習慣状況調査の結果の概要】

西紀南小学校全体の結果について

6年生対象に行われた全国学力・学習状況調査(国・算)、5年生対象で行われた丹波篠山市学力状況調査(国・算)では、どちらの学年も教科や単元によって目標値及び全国平均を上回る結果と下回る結果が出ており、得意な分野と不得意な分野の差が見られました。

国語科の結果について

5年生については、ことわざの意味を知ったり、正しく使ったりする問題の正答率が高くなっています。また、6年生についても送り仮名に注意して選択肢から正しい答えを選ぶ問題や情報の整理の仕方として正しい選択をする問題の正答率が高い結果になっています。

しかし、5年生については、話し合いの内容を聞き取る問題や連用修飾語などの言葉の品詞を理解する問題について課題が見られました。

6年生については、資料を関連付けながら条件に合わせて自分の考えを書く問題や複数の資料を基に条件に合わせて自分の考えを書く問題に課題が見られました。

算数科の結果について

5年生については、小数の仕組みの理解を問う問題や小数をいくつ集めた数なのかを問われる問題と変わり方の表の読み取りや伴って変わる2つの数量の一方の値から、もう一方の値を求める問題の正答率が高い結果になっています。また、6年生は、「数と計算」に関する問題の正答率が高い結果となっています。

しかし、5年生については、切り捨てて計算した結果が目的に合う理由を説明している思考力を問われる問題やコンパスやものさしを使ってひし形の作図をする技能問題に課題が見られました。

6年生については、筆算の仕方を説明した図を基に筆算の商の十の位にあたる式を選ぶ問題や2つのグラフから30分以上の運動をした日数が、「1日」と答えた人数に着目してわかることを書く問題などの思考力を問われる問題に課題が見られました。

学力・習生活習慣について

学力・生活習慣状況調査(3~6年実施)では、自己認知において、自己肯定感が高く、人間関係の良好さについてのポイントが高いことがわかりました。また、社会生活の中での規範意識も高く、社会参加の意識を持って、行動しようとする児童が多いことがわかりました。

生活習慣では毎日の朝食や早寝早起きをはじめ、全体的に規則正しい生活をおくることができているという結果がでて一方で、自分で朝起きたり、明日の用意を前日に用意したりすることが難しい児童も一定数いることから、生活習慣の定着に差が見られます。本校では、みなみん生活習慣としてご家庭と手を携え、子どもたちの生活を見つめていく取組を進めており、今後も継続していきたいと思えます。

学力調査の結果をもとに「国語科」「算数科」においてこれまでの学力向上の取組を見つめ直し、学校として「授業の工夫」・「基礎的内容の習得」について結果の分析を通して『子どもたちに必要な力は何か』、その力をつけるために『どのように授業を改善していけばよいのか』という授業改善の視点を検討し、今後に生かしていきます。

国語科

「自分の考えと比べながら相手の話を聞く力」「複数の情報を関連付けながら思考し、自分の考えを表現する力」「見通しを持って、課題に取り組む力」「新しい課題を自分事として取り組む力」が身につくよう指導していきます。

- ・「自分の考えと比べながら相手の話を聞く力」を育むために、個人思考の時間を設け、自分の考えを持って、相手の話を聞き、考えを比べることのできる授業づくりをしていきます。
- ・「複数の情報を関連付けながら思考し、自分の考えを表現する力」を育むために、複数の資料や情報と情報を関係づけて思考する課題に取り組みます。
- ・「見通しを持って、課題に取り組む力」を育むために、学習計画を見通しと立てたり、タイムタイマーを活用したりして、児童が見通しを持てるように取り組みます。
- ・「新しい課題を自分事として取り組む力」を育むために、学ぶ目的を意識して自分が学んだことを振り返り、学びを自覚しながら主体的に学ぶ授業作りをしていきます。

算数科

「基礎的、基本的な計算をする力」「問題を丁寧に読み取り、題意を理解する力」「情報を整理し、関連付けて読み取る力」「自分の言葉で説明したり、伝えたりする力」が身につくよう指導していきます。

- ・「基礎的、基本的な計算する力」を育むために、基本的な四則計算を低学年から確実に定着させていきます。
- ・「問題を丁寧に読み取り、題意を理解する力」を育むために、算数的な表現（絵、図、テープ、数直線、言葉の式など）を中心にした問題解決学習をすすめ、自力解決ができる学習に取り組みます。
- ・「情報を整理し、関連付けて読み取る力」「自分の言葉で説明したり、伝えたりする力」を育むために、提示された説明の仕方を使って、自分で説明を記述する問題を丁寧に扱い情報を関連づけて記述する学習に繰り返し取り組みます。

学習生活習慣について

これまで同様、子どもたちの学習や生活習慣が崩れないよう家庭との連携を密に図っていきます。学期に1度の「みなみん生活週間」の実施による生活の見直しを行い、「心」と「習慣」の両方から子どもたちの変化に気付いていく取組を進めます。そして、児童会や委員会活動、係活動、行事などで達成感や充実感をもつ経験を積み重ね、課題解決能力を育むとともに、子ども達一人一人が社会的・職業的自立に向け、必要な力を育てるキャリア教育を推進していきます、子どもたちの日々の努力の積み重ねが自信につながるよう一層の学力と生活習慣の向上に努めていきます。

【保護者の皆様へのお願い】

本プランを提案したねらいは、児童の実態や課題を明確にし、課題解決に向けて学校と家庭が連携して学力・生活習慣の向上に取り組むことにあります。

- ・基本的な生活習慣の確立には良い結果も出ていますので、引き続き励ましの声かけをよろしくお願いいたします。
- ・自主学習を活用し、予習や復習をしっかり行うことや読書や音読習慣を身に付けていけるよう、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

今後も学校と家庭が連携し、子どもたちのさらなる成長を見守っていきたくと考えております。